

市民の声

きれいな水は  
まず台所から

「きれいな水はまず台所から」「廃油を川へ流さない」ということを考え、私は鉢植えの肥料に油かすを作って使用しています。この油かすは植木や野菜に最適です。作り方を紹介しますので、ためしみてみてください。

①材料 米糠、残飯、廃油、卵殻、排水口の水切り袋に集まった生ごみなど。

②作り方 廃油の中に、廃油の量に応じて右の材料を混ぜ、ビニル袋またはゴム手袋を使って、市販の油かすの大きさに丸めて乾燥させると出来上がりです。

生ごみを減らす小さな運動、これを使用して植物は緑を増し、私は家庭菜園と仲良くしています。生ごみの多いときはコンポスターを利用していただきます。

(一市民)



川久保尚亮さん(金地)の作品

ご一緒に

英語の本を  
読みなせんか

英語の本を読む機会を開きます。参加費は無料。皆さんの参加をお待ちしています。

【内容】  
○初級コース(中学程度)  
毎週火曜日10時~12時



笑いの  
健康講座

年をとって体が衰えるのはある程度仕方ないことですが、「心」まで老いてしまつては大変。老いの人生には「笑

これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

【しめきり】 4月20日

【あて先】 〒783 南国市大浦甲二三〇一 南国市広報委員会 親子クイズ係

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎第27回親子クイズの答えは、ぼんぼりでした。

第27回当選者発表(敬称略)

(応募総数 通)

武政智恵(篠原)

松島律子(駅前町)

上原恵子(十市)

谷さちよ(大浦)

池本さやか(篠原)

お便りの中から皆さんの思い出の一部を紹介します。

○私達のおひな祭りのときは、一番上のおだいら様しかなかつた時代です。今はほんとうに多く飾りがあり、現在の子供たちは幸せと思います。

○毎年出していたおひな様。忙しさにかまけ今年は出さずじまいでした。来年は出してあげようと思つてます。

○昭和五十八年、長女出産の折、帝王切開だったため、心配して高松からかけつけてくれた姑が、ひな祭りの直前だったためさっそく桃の花をたくさん買って病室に飾ってくれました。おかげで娘は元気に育ち、毎年誕生日とひな祭りを一緒に祝うのですが、

桃の花を見る度に出産当時のこと、今は亡き姑を思い出します。今年も南国市民になつて初めてのおひな祭り、やっとマイホームを持てたのも姑のおかげと、皆でおひな様を並べました。

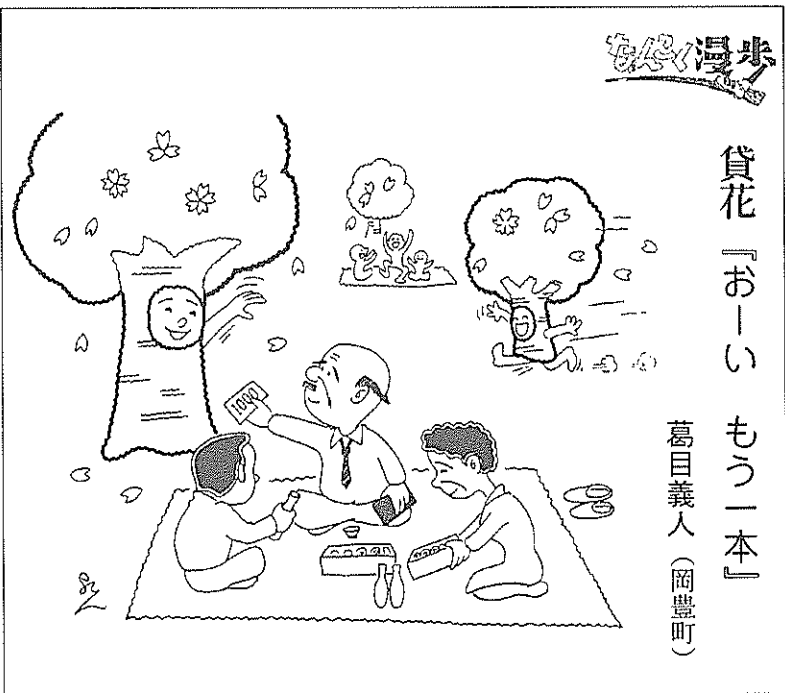
○幼いころ、ひな祭りのときぼんぼりが気に入らなかつたので、壊して、お母さんにもすく怒られたことがありました。(今もぼんぼりが一つありません)

○おひな様のぼんぼりに電氣をつけたり消したりして遊んで怒られました。やっぱりおひな様はきれいです。

○我が家の子供は小学五年、六歳、三歳の三人姉妹です。長女は三月二日生まれ、いつも三日におひな様と誕生日を祝っています。長女は段飾り次女、三女はケース入りの人形ですが、それぞれ電氣でぼんぼりの明かりがつくようになっていきます。私の初節句は昭和三十年、小さな人形です。もちろん明かりのつかないぼんぼりでしたが、毎年母と二人で飾っていました。今も実家にあります。もつとてきておこうかと思つてきました。

貸花『おーい もう一本』

高目義人(岡豊町)



早春の譜奏でおりせせらぎに  
合せて誇る白梅の花

里改田 岡田桂子

何気なく注射さすナースの横  
顔に びんのほつれの揺れて  
愛らし 植野 永野美田

浦波の真砂ひきするかすかな  
音聴きて立つ春浅き浜

西島 門田美枝子

旧懐の語り尽きずクラス会  
童顔なつつ大正生れ

三島 小笠原綾子

亡き母に夢にてもよき会いた  
しと 朝のテレビの子役がむ  
せぶ 大浦 田所志奈

蒼き海に水鳥あそぶはいつの  
日ぞ きすあつと深き湾岸戦争

亀岩 島本栄

南国歌壇

南国柳壇

どっこいしょ 風呂に入ろうか  
独りごと 立田 北村幸江

能味噌を粕に絞りに詠む日永  
十市 沢村鶴一

南国俳壇

春寒の続くや日毎風花す  
盆梅の秀を大切に奮運び  
白菜割る玉なす力爆けさせ  
散らんとす紅梅天と響き合う  
風花すわれ八十の誕生日  
種おくら斜につるし酒を断つ

浜田東風 (南国波旬会)  
中沢道子 ( )  
松木巨郎 ( )  
山岡みよ (岩村句会)  
島崎光一 ( )  
和田ひでみ ( )